下関市立歴史博物館特別展

手紙で辿る毛利家の喜怒哀楽

令和7年 11.21(金) ▶ 令和8年 1.18(日)

■開館時間：9時30分～17時（入館は16時30分まで）
■休　館　日：毎週月曜日　年末年始（12月28日～1月4日）
※11月24日（月）・1月12日（月）は開館し、
11月25日（火）・1月13日（火）が休館
■駐 車 場：一般26台（有料）身障者用2台（無料）
■観　覧　料：一般700円（560円）大学生等400円（320円）

※（）内は20名以上の団体料金
※下関市内に居住する65歳以上の方は観覧料350円（要公的証明書）
※18歳以下の方、障害者手帳をお持ちの方は観覧料無料（要公的証明書）

下関市立歴史博物館
Shimonoseki City Museum of History
〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号
Tel.083-241-1080 https://www.shimohaku.jp

イベント情報 Event information

特別展関連講座
初代清末藩主 毛利元知の手紙を読む

日　時：令和7年12月17日（水）・12月21日（日）
各日10時30分～11時30分
※内容はいずれも同じ　※各回定員45名
講　師：下関市立歴史博物館 学芸員 松田和也
資料代：300円
場　所：下関市立歴史博物館　ガイダンス交流室
予　約：令和7年11月21日（金）9時30分から博物館受付、または
電話にて受付開始

展示解説

令和7年12月17日（水）・12月21日（日）各日11時40分～12時10分を予定
※講座終了後に実施するため、開始時間が前後する可能性があります。
場　所：下関市立歴史博物館　企画展示室
料　金：特別展観覧料
予　約：不要（講座を聴講しなくても参加可能）

毛利元就画像・部分（日頼寺蔵／当館寄託）　毛利元知書状 平野家文書・部分（山口大学総合図書館蔵）

下関市立歴史博物館特別展

手紙で辿る毛利家の喜怒哀楽

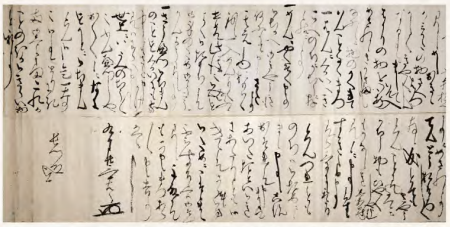
安芸国の小さな領主から中国地方を代表する戦国大名となった毛利家。江戸時代には、現在の山口県域を治めて、明治維新では大きな役割を果たしました。

長い歴史を持つ毛利家の特徴の一つが、手紙を始めとする資料が比較的多く遺されていることです。崩し字で書かれた当時の手紙は難解ですが、丹念に読み解いていくと、日常の何気ない風景から家を揺るがす大事件まで様々な事柄が見えてきます。電話やメールの無い時代のため、手紙にはまさに当時の人々の肉声が刻まれているのです。

本展覧会では、当館や近隣の地域に伝えられた戦国時代や江戸時代の毛利家の人々の手紙を紹介します。毛利家の人たちの声に触れ、ぜひ手紙の楽しさを感じてみてください。

愛する息子への長い長い説教

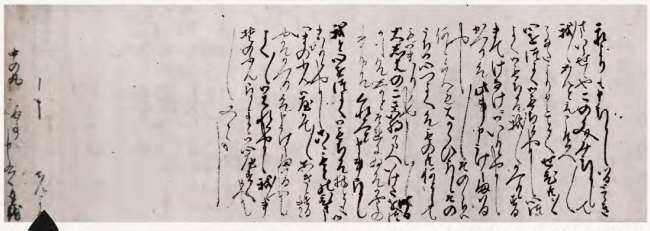
戦国大名
毛利輝元



毛利輝元書状　糸賀家文書　※部分(当館蔵)

少しばかりやんちゃな息子を一人前にするために
日頃の生活態度など細かく指導します。

帰りを待つ妻のため

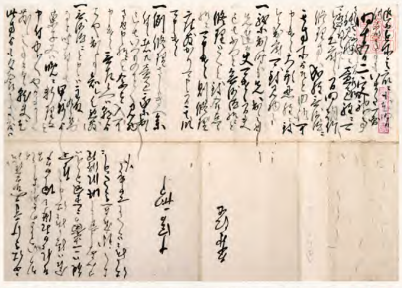


毛利元就書状 小幡家文書(萩博物館蔵)

戦国大名
毛利元就

戦いから帰ったら彼女の望みを
何でも叶えてあげようと思います。

面倒な接待はいやだ 殿さまがまさかのお忍び外出



毛利元知書状 平野家文書(山口大学総合図書館蔵)　初公開

皆には内緒で
こっそり能を観に
行くことにしました。

初代清末藩主
毛利元知

こんなにダメな私は どうしたら良いのでしょうか・・・?

毛利元義書状(個人蔵／当館寄託)　初公開

心を許す僧侶に悩みを
打ち明けました。

11代長府藩主
毛利元義

今どきの若者は全然ダメ

小早川隆景書状 日頼寺文書(日頼寺蔵／当館寄託)

戦国武将
小早川隆景

仕事の出来ない若い家臣と
一旦縁を切ることにしました。

担当学芸員 松田和也

深刻な内容のものから思わず笑ってしまうようなものまで毛利家の人たちの手紙を現代語訳付で分かりやすく紹介します。初公開となる手紙も多いので、是非ご覧ください。

下関市立歴史博物館

〒752-0979 山口県下関市長府川端二丁目2番27号
Tel.083-241-1080 https://www.shimohaku.jp

交通のご案内

●公共交通機関

- JR下関駅 — 長府・小月・宇部・秋芳・長門・西市方面行きバス 所要時間約25分
- JR新下関駅 — バス停「城下町長府」を経由する「マリンランド」または「下関駅」行きバス 所要時間約20分
- JR長府駅 — バス停「長府駅前」から下関方面行きバス 所要時間約10分

バス停「城下町長府」 徒歩10分 → 下関市立歴史博物館

●自動車

- 下関I.C — 壇ノ浦方面へ進み、国道9号線経由 所要時間約20分
- 下関I.C — 長府方面へ進み、国道2号線経由 所要時間約15分